

【4-8 定性的システマティックレビュー】

<b>CQ</b>	CQ18	HER2陰性転移・再発乳癌に対する化学療法に分子標的治療薬を併用することは推奨されるか？
<b>P</b>	HER2陰性転移・再発乳癌(女性)	
<b>I</b>	分子標的治療薬(ペバシズマブ)+化学療法	
<b>C</b>	化学療法	
<b>臨床的文脈</b>		転移・再発乳癌に対する薬物治療
<b>O1</b>	QOL	
<b>非直接性のまとめ</b>	Miller2005(AVF2119g)では対象で'-1',他は'0', Miller2007(E2100)ではすべて'0'である。全体では、非直接性は'0'と判断する。	
<b>バイアスリスクのまとめ</b>	Miller2005(AVF2119g)では選択バイアスが'-1',実行バイアスが'-2'で、他は'0'である。Miller2007(E2100)では選択バイアスのランダム化が'-1',実行バイアスが'-2'で、他は'0'である。全体では、バイアスリスクは'-1'と判断する。	
<b>非一貫性その他のまとめ</b>	2試験とも2群間のQOLに有意な差はないとの結果であり、非一貫性は'0'と判断する。	
<b>コメント</b>	2試験いずれにおいても2群間で有意差は認められなかったが、2試験とも盲検化がされていない点が注意点である。	
<b>O2</b>		
<b>O3</b>		